

関西医科大学(前期) 英語

2021年1月30日実施

I	1	①	X	②	O	③	X	④	X
		⑤	O	⑥	O	⑦	O		
	2	a dog		3	ウ	4	more		

II	1	[1]	ア	[4]	エ	[7]	ウ		
	2	(2)	ウ	(3)	エ	(8)	ア	(9)	イ
	3	(5)	ウ	(6)	イ	(10)	ア	(11)	エ
	4	体内時計							

III	1	①	O	②	O	③	X	④	O
		⑤	X	⑥	X	⑦	O		
	2	to		3	adding				
	4	Food and Drug Administration							

<解説>

I

1[内容一致・不一致] 「本文に従い、以下の文が正しければ“O”を、間違っていれば“X”の文字をそれぞれ自分の解答用紙に記入せよ」

① X 「クレイマー医師は、さまざまな国でおよそ70年にわたって、イヌを飼っている人の死亡率に関する臨床研究を実施した」

第1段落に「70年近くの間、世界中で行われてきた研究の体系的な再検討を新たに行った」とあり、この文内容は誤りである。第4段落でクレイマーの研究を「メタアナリシス」と表現していることも根拠となる。

② O 「一人暮らしでイヌを飼っている人の死亡率に関して言えば、心臓発作生還者の方が、脳卒中生還者よりも、イヌを飼うことでより多くの恩恵を受ける」

第10段落から、一人暮らしでイヌを飼っていると死亡リスクが心臓発作の場合では33%、脳卒中の場合では27%下がったとわかるので、この文内容は正しい。

- ③ X「ペットの飼育が飼い主の孤独を和らげることにより、ペットを飼って一人暮らしをする人の死亡率を引き下げると科学的に証明された」
 第13段落が根拠となるが、空所に答えが入ることが前提になってしまう。正解の単語が入った場合のおよその意味は「発表された研究はどちらも観察に基づくものであるが、それはつまり研究者たちは、イヌを飼うことが心臓発作や脳卒中を経験した後に平均余命が延びたり、健康状態が改善したりしたことの直接的な原因であるとは証明できないということである。そうした問題に答えを出せるとしたらそれは無作為臨床試験だけであろう」である。従って、この文内容は誤りである。
- ④ X「イヌをなでることは、降圧剤よりも血圧を下げる効果が高い」
 第17段落に「イヌをなでるだけで医薬品と同じくらい血圧を下げるができる」とあるので、この文内容は誤りである。
- ⑤ O「心臓病の専門医の中には、イヌを飼うことを患者に勧めたいと思っているものも多い」
 第20段落に「実際に、多くの心臓専門医が、イヌを飼うことで得られる恩恵があると思っているので、その人がペットをちゃんと世話できると信頼できるのであれば、患者にイヌを処方したいと本気で考えている」とあるので、この文内容は正しい。
- ⑥ O「米国心臓協会が言うには、イヌを飼う人々は、心臓血管疾患を患うリスクを軽減することを、飼育の主目的とすべきではない」
 第24段落第1文が根拠となる。「しかしながら米国心臓協会が言うには、ペットを飼うというのは、生き物を世話することへの献身であり、ある程度の経済的出費と責任を伴う。従ってペットをもらったり、ペットを救済したり、ペットを購入したりすることの主たる目的は、心臓血管疾患のリスクを軽減することであるべきでないのだ」とあるので、この文内容は正しい。
- ⑦ O「心臓発作生還者や脳卒中生還者だけでなく、それ以外の人々もイヌを飼育することで利益を得ることができる」
 第25段落第1文が根拠となる。「CDCによれば、イヌはストレスを軽減し、リラックスするのを促し、人生のほぼ全ての年齢の人に対して影響を与えるということが研究で示されている」とあり、続く第26段落では具体的に利点が紹介されているので、この文内容は正しい。

2[指示内容] 「下線部(1)の表現に置き換えて用いることのできる最も適切な2語を第1段落から見つけよ」

下線部(1)を含む第2段落第1文のおよその意味は「ヒトの最良の友が健康に及ぼす利点に関する調査では、アメリカ合衆国、カナダ、スカンジナビア、ニュージーランド、そしてイギリスのおよそ400万人を対象とした研究が分析された」である。第1段落第1文で示されている通り、今回の研究によって得られた結論は、「イヌを飼うことは、理由が何であれ死から身を守る術となる」というものである。従って、ここでいう「ヒトの最良の友」という表現で指す内容は a dog 「イヌ」とわかる。

3[空所補充] 「空所(2)(3)(4)に入れるべき単語の組み合わせとして正しいものを、以下の選択肢から選び、ア、イ、ウ、エの文字で答えよ」

3つの空所を含む第13段落全体のおよその意味は「発表された研究はどちらも(2)であるが、それはつまり研究者たちは、イヌを飼うことが心臓発作や脳卒中を経験した後に平均余命が延びたり、健康状態が改善したりしたことの(3)な原因であるとは証明できないということである。そうした問題に答えを出せるとしたらそれは無作為な(4)試験だけであろう」である。

空所(2)の選択肢は clinical 「臨床的な」と observational 「観察による」である。第1段落及び第2段落で述べられているように、今回の研究は、過去70年間世界中で行われてきたイヌの飼育と健康状態に関する研究データを分析したものである。被験者を募って何らかの実験を行ったわけではない。この点から observational を入れるべきことがわかる。空所(3)の選択肢は direct 「直接の」と indirect 「間接の」である。続く第14段落第1,2文が根拠となるだろう。「『原因はイヌなのか、それともイヌを飼うという行為なのか?』とグラティは問うた。『改善が見られたのは運動をしているからなのか、それともイヌを飼うことを選択する類の人とそうでない人では何か違いがあるからなのか?例えばイヌを飼う人はより健康であったり裕福であったりするのか?こうしたことについてはまだわかっていないのです』。このように、イヌを飼うことが健康状態の改善の直接の原因であると証明するには至っていないことがわかる。

以上から選択肢の組み合わせはウ、 observational—direct—clinical とわかる。

4 [空所補充] 「空所(5), (6)に同じ英単語を入れよ」

空所(5)を含む第 15 段落第 1 文の構造に注目する。

(5) : The American Heart Association points to studies that found pet owners who walk their dogs got up to 30 minutes (5) exercise a day than non-walkers.

このように後ろに “than” があることに気付ければ、必要な単語が比較級 more であるとわかるだろう。念のため空所(6)に入れて確認する。

(6) : “We know that if you have depression after a heart attack, you’re (5) likely to have a poor outcome,” ~ more でなければならない理由はないが、入れて成り立たないわけではないことがわかる。

II

1 [文中語句整序] 「カッコ[1]と[4]と[7]内の語および語句を並べ替えて正しい英文を作れ。なお文頭の文字も大文字表記されていない。以下の * に来る語を「ア」から「オ」もしくは「カ」の文字を用いて解答欄に書け」

[1] : ~, we do know that sleep is key to [ア bodies / イ healthy / ウ helping / エ our / オ stay].

解答はア, “we do know that sleep is key to helping our bodies stay healthy.” となる。

key to [名] で「[名]の秘訣」という表現。従って, to の後には全体を名詞化する動名詞 helping が必要である。help O 原形の語順を予想して, helping our bodies stay healthy とする。stay は補語として形容詞をとれるので, 形容詞 healthy を後に並べればよい。

[4] : [ア do / イ matter / ウ no / エ what / オ you], make your bedroom very comfortable and very dark.

解答はエ, “No matter what you do, make your bedroom very comfortable and very dark.” となる。

no matter what S'V ~ で「S'が何を~しても」という副詞節が完成する。

[7] : [ア buffer / イ can / ウ minutes / エ more / オ the / カ you] before bed, the better.

解答はウ, “The more minutes you can buffer before bed, the better.” となる。

the 比較級 S'V ~ で「~すればするほど」という副詞節が完成する。the のあとに比較級の形容詞 more を並べるが, この more は minutes を修飾し, the more minutes の語順となる。“The more you can buffer minutes” としないように注意したい。

2 [空所補充] 「空所(2), (3), (8), (9)に入れるのに最も適切な語を下の選択肢から選び, アからエで答えよ。なお同じ語を2回以上使ってはならない」

(2)(3) “Sleep is an essential part of protection from and response to any infection.”

「睡眠はあらゆる感染症から体を守り, それに対して応答するのに不可欠である」

(2) は protect from ~ 「~から守る」を名詞化したもの。(3) は respond to ~ 「~に反応(応答)する」を名詞化したもの。

(8) “In a comfortable position, with your eyes open or closed: inhale for four second, hold your breath for seven seconds, exhale slowly for eight seconds. Then repeat as necessary.”

「体を楽にして, 目は開いたまま, または閉じたまま, 4秒かけて息を吸い込み, 7秒間息を止め, 8秒かけてゆっくりはき出しなさい。そして必要に応じて繰り返しなさい」

as necessary 「必要に応じて」

(9) “To start, increase your total sleep time by two hours, said Dr. Breus.”

「まず, 睡眠時間を合計で2時間増やしてください」とブリュー博士は述べた。

「差」を表す前置詞 by が入る。

3[空所補充] 「空所(5),(6),(10),(11)に入れるのに最も適切な語を下の選択肢から選び、アからエで答えよ。なお同じ語を2回以上使ってはならない」

(5)(6) “ ~ Lisa Medalie, a behavioral sleep medicine specialist at the University of Chicago, who adds that it’s vital to keep disciplined, which helps minimize distractions and regain control.”

「シカゴ大学で睡眠行動医学を専門とするリサ・メダリーは、～規律を保つことが不可欠であり、そうすることで気が散ってしまうことを最小限にとどめ、携帯電話の使用を再び抑制できるようになると付け加えている」

(5) には Lisa Medalie を先行詞とする関係代名詞 who が入る。(6) には to keep disciplined を先行詞とする関係代名詞 which が入る。

(10)(11) “Here’s what we know about why sleep is important.”

「ここでは睡眠が重要である理由について私たちが知っていることを説明する」

(10) には 名詞節を導きかつ know の目的語となる 関係代名詞 what が入る。(11)以降は完全文であり、直前に “So, why does sleep matter anyway?” 「では、なぜともかく睡眠が重要なのだろうか」とあることが根拠となり、(11)には疑問詞(関係副詞) why が入る。

4[部分和訳] 「下線部(12)の語句を和訳せよ」

body’s internal clocks で「体内時計」という意味である。

Ⅲ

1[内容一致・不一致] 「本文に従い、以下の文が正しければ“O”を、間違っていれば“X”の文字をそれぞれ自分の解答用紙に記入せよ」

① O 「電子タバコは多くの若者の喫煙を引き起こす原因である」

第1段落第2文に「しかしながら、多くの若者は電子タバコがきっかけで喫煙するようになるという証拠がある」とあるので、この文内容は正しい。

② O 「『禁煙』は、タバコに関する第34回米国公衆衛生総監報告が発表されるまでの30年間は主要なテーマではなかった」

第2段落第2文に「全体で34回目となる今年の報告は、過去30年で初めて禁煙について具体的に言及した」とあるので、この文内容は正しい。

③ X 「あらゆる風味の電子タバコの販売が現在禁じられている」

第3段落第2文に「アメリカ食品医薬品局は、メントールとタバコ風味のカプセル型カートリッジを除く、ほぼ全ての風味の電子タバコ製品の禁止を発表した」とあり、全ての風味が販売禁止の対象となっているわけではないので、この文内容は誤りである。

④ O 「これまでのところ、電子タバコが禁煙に役立つかどうかに関する研究の多くは包括的なものではなかった」

第5段落第1文に「しかしながら、電子タバコが禁煙に役立つかどうかに関する既存の研究の多くは特定の製品を対象としているため、今回の調査結果を電子タバコ全般に当てはめることはできない」とあるので、この文内容は正しい。

⑤ X 「多くの喫煙者は禁煙したいと思っているが、実際に禁煙しようとする人の数は年ごとの全喫煙者の50%に満たない」

第7段落に「実際、報告によれば喫煙者の大半、およそ70%は禁煙したいと思っており、喫煙者の半数以上が毎年禁煙を試みている」とあるため、この文内容は誤りである。

⑥ X 「薬物治療だけが禁煙に役立つということが証明された」

第9段落第1文から第3文に「アダムズは、禁煙に役立つと証明されているいくつかの方法を勧めた。FDAが承認した薬剤と行動カウンセリングを併用すれば、禁煙の成功率を2倍になる。また、携帯電話のメッセージやインターネットを使ったサービスを通じて、禁煙へのサポートを受けることもできる」とあるので、この文内容は誤りである。

⑦ 〇「アメリカ人のあらゆる死因のうち 20%が喫煙に起因する」

第 10 段落第 3 文に「喫煙はアメリカにおける死亡原因の 5 分の 1 を占めており、アメリカで死亡、疾病、障害の予防可能な原因としては依然として最大の割合を占めている」とあるので、この文内容は正しい。

2[空所補充] 「空所(1)に、最も適切な語を入れて文を完成させよ」

(1) “there’s still not enough scientific evidence to back up this claim.”

「この主張を裏付ける十分な科学的証拠はいまだ存在しない」

空所の直後には動詞の原形である back up ~ があり、その主語にあたるのが、直前の名詞 evidence である。従って空所(1)に入る可能性のある語は、主格の関係詞か to 不定詞の to となる。しかし、3 人称単数現在の “s” がいないことから、ここでは to を入れるべきことがわかる。

3[活用変化] 「空所(2)の動詞を適切な活用形にせよ。形を変える必要がなければそのままの形で書け」

(2) “these findings can’t be applied to e-cigarettes as a whole, Adams said, (2) that many of the products that were studied have since changed, and that there are countless others on the market.”

「今回の調査結果を電子タバコ全般に当てはめることはできない、とアダムズは語った。さらに研究対象となった製品は多くの場合、後になって変更が加えられており、市場には他にも無数の製品があると彼は補足した」

文全体の構造を確認すると、空所から文末までが副詞句であり、add の主語が Adam と想定して意味も通ることから、空所以後が分詞構文であることがわかる。空所の直前には that 節が目的語として置かれていることから、能動を表す adding が正解となる。ちなみに、たとえ add that ~ 「～ということを書き加える」という表現を知らなかったとしても、大問Ⅱの空所(5)の直後に同じ表現があることに気付ければ、接続詞 that の導く名詞節を目的語に取れると気付けるであろう。

4[同義語抜粋] 「下線部(3)の頭文字語は何の略語であるか。最も適切な語句を本文中から見つけよ」

FDA = Food and Drug Administration 「食品医薬品局（食品・医薬品などの安全性を監督する政府機関）」

本文中で頭文字が大文字で、つなぎ合わせれば FDA になるものを探せばよい問題。

講評

Ⅰ [長文] (標準) 「ドッグセラピー」に関する英文。語数は 2020 年度前期の大問Ⅲと同等。設問数は減少したが、出題形式は例年通り。

Ⅱ [長文] (やや易) 「良質な睡眠のとり方」に関する英文。1,600 語を超える長大な英文であるが、内容一致問題は設けられておらず、前後の内容から正答を導くことのできる設問が多い。

Ⅲ [長文] (やや易) 「電子タバコが喫煙と禁煙に及ぼす影響」に関する英文。語数は 2020 年度前期の大問Ⅱと同等。内容は平易で、出題形式も例年通り。

大問構成は 2020 年度前後期と変わらず。いずれも関西医科大学らしい長文問題。全体の分量は若干増えたが、内容は馴染みのあるものが多く、要領よく立ち回れば高得点も望むことができる。目標は 80%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで